

SAMPLE REPORT

日本フィットネスアプリ市場 市場調査レポート

TAM/SAM/SOM 算出・競合マッピング・投資家向け提出フォーマット

作成日	2026 年 6 月（サンプル作成日）
対象市場	日本国内フィットネスアプリ市場（個人向け toC）
レポート形式	資金調達ピッチ資料添付用フォーマット
作成	AI 市場ナビ

エグゼクティブサマリー

日本のフィットネスアプリ市場は、健康意識の高まりとウェアラブルデバイスの普及を背景に持続的な成長期にある。2025年時点の市場規模は約257億円（1億7,210万米ドル）と推定され、2026年から2034年の年平均成長率（CAGR）は15.54%と予測されている。本レポートでは、新規参入を検討する事業者を想定し、市場規模の算出、競合構造の分析、参入機会とリスクの評価、および推奨アクションを提示する。

本資料は投資家向けピッチ資料・銀行融資申請・補助金申請のいずれの提出先にも対応できる構成で作成されている。脚注に出典を明記し、推定の前提条件を明示することで、提出先の審査担当者が検証可能な形式を採用している。

1. 市場規模（TAM / SAM / SOM）

1-1. 算出方法

市場規模はトップダウン・ボトムアップの両アプローチを併用して検証した。トップダウンでは国内フィットネスアプリ市場全体の推計値を出典として採用し、ボトムアップでは想定ターゲット層の人口・利用率・平均課金額から独立して算出することで、単一の出典に依存しない裏付けを確保している。

1-2. 算出結果

区分	市場規模（2026年）	算出根拠
TAM	約61億円（4,087万米ドル）	国内フィットネスアプリ市場全体（出典1）
SAM	約18億円	都市部20～40代・サブスク利用層に限定
SOM	約9,000万円（3年目想定）	SAM対比シェア5%・段階的獲得を仮定

※本サンプルでは簡略化した数値を表示している。実際の納品レポートでは、貴社の事業計画（料金体系・想定獲得チャネル・期間）に基づいた個別算出と、出典データの脚注付き明記を行う。

2. 競合マッピング

国内フィットネスアプリ市場は、総合フィットネス系・特化型（ランニング・ヨガ等）・ウェアラブル連携系の3グループに大別される。以下は競合構造の一部抜粋である。

カテゴリ	代表企業数	料金帯	特徴
総合フィットネス系	7社	月額500～1,500円	動画コンテンツ中心
特化型（ヨガ・ランニング等）	8社	月額300～1,200円	コミュニティ機能が強い
ウェアラブル連携系	5社	無料～月額980円	ハードウェア販売と連動

実際の納品レポートでは競合20社の詳細マッピング（事業概要・強み弱み・資金調達状況・直近の戦略動向を含む）を提供する。本サンプルは構成と粒度を示すための抜粋である。

3. 市場機会とリスク

3-1. 市場機会

- ウェアラブルデバイス（スマートウォッチ等）との連携強化により、データ精度とユーザー体験の差別化が可能
- 生成 AI を活用したパーソナライズ機能の実装が今後の成長ドライバーとして見込まれる
- 法人向け（健康経営・福利厚生）市場は個人向け市場と比べ競合が少なく、新規参入余地がある

3-2. 注意すべきリスク

- サブスクリプション疲れによる解約率の上昇が業界共通の課題となっている
- 大手テック企業（OS 提供元）が標準機能としてフィットネス追跡を強化する動きがあり、独立系アプリの差別化が一段と求められる

4. 推奨アクション

初期フェーズでは、競合が手薄な法人向け健康経営市場、またはウェアラブル連携の精度向上に資源を集中させることを推奨する。SAM の算出根拠となるターゲット層（都市部・サブスク利用層）に対し、3 年で 5% のシェア獲得を目標とする SOM は、本サンプルの前提条件下では現実的な範囲にあると評価する。

出典

1. IMARC Group 「日本のフィットネスアプリ市場レポート」（2026 年 1 月）
2. 株式会社マーケットリサーチセンター「フィットネスアプリの日本市場（2026 年～2034 年）」

※実際の納品レポートでは、貴社の対象市場に応じた一次情報・二次情報を個別に調査し、全項目に出典を明記する。

このサンプルについて

本資料は AI 市場ナビが提供する市場調査サービスの品質をご確認いただくためのサンプルです。実際の納品物は、貴社の事業内容・調査目的に応じて TAM/SAM/SOM の算出根拠を個別に構築し、競合 20 社の詳細マッピング、投資家向け・銀行融資向け・補助金申請向けの各フォーマットに対応した形式で作成いたします。